

vol.11
那須とりつくあーとぴあ

近場で楽しむ



表紙シリーズ「マイクロツーリズム」では、那須レジャー施設協会の協力のもと町内で楽しめる観光施設を紹介しています

トリックアートが織りなす
不思議な世界



館内にはさまざまなトリックアートが点在しています(トリックアート迷宮?館)

皆さんは「トリックアート」をご存知ですか。トリックアートとは、人間の「目の錯覚」を利用して、絵が立体的に見えたり、見る角度によってまったく違った印象を与えるアート作品のことです。この錯覚を存分に生かして人々を不思議な世界に誘う「那須とりつくあーとぴあ」をご紹介します。

那須とりつくあーとぴあには、改造したペンションの構造を生かしたトリックアートが並ぶ「トリックアートの館」、西洋絵画の名作とトリックアートが融合した「ミケランジェロ館」、そして、広報紙の表紙で掲載している空中浮遊などのファンタジーな世界を体験できる「トリックアート迷宮?館」の3つの建物があり、それぞれ異なったテーマのトリック

床がぐにやぐにやに見えるかな!
(トリックアートの館)



アートが楽しめます。

館内は自由に写真を撮影することができるとも魅力のひとつ。例えば、ドラゴンを捕まえたり、床が抜け落ちた場所に立ったり、絵から人が飛び出したり・・・。実際には行くことも、体験することもできないようなことを写真に残すことができます。家族や友人と一緒に試行錯誤しながら撮影すると、楽しさ倍増間違いなしです。

トリックアートが織りなす不思議な世界で、楽しい思い出を作りませんか。

新型コロナウイルス感染防止対策

- ・従業員のマスク着用、体調管理検温を実施
- ・館内の定期消毒と十分な換気
- ・営業時間を短縮し、館内消毒を徹底
- ・入館制限(定員の半分以下)
- ・入館者の手指消毒、体温確認、マスク着用の徹底

那須中央中学校
防災フォーラム

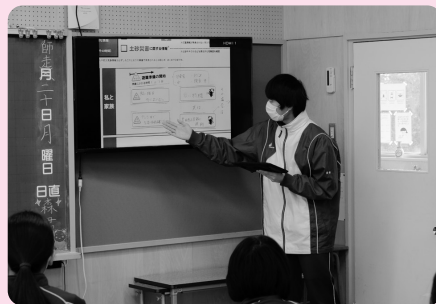
~マイ・タイムラインの発表~

12月18日、那須中央中で全校生徒による「防災フォーラム」が開催されました。発表会は中学校学区の12地区にわかれて、学校運営協議会委員や各地区社会福祉協議会会長、保護者らも参加しました。3年生は災害時の防災行動をまとめた「マイ・タイムライン」や「女川のちの石碑」を訪問して学んだこと、2年生は「震災遺構の荒浜小学校」を訪問して学んだことを発表しました。

平成23年の東北地方太平洋沖地震で被災した宮城県へ実際に訪問し、見て、感じたことを共有し、いつ起きるか分からない災害の恐ろしさと、命の尊さに、真剣に向き合っていました。そして、自身自身に置き換えて、いざ災害があったときの行動について考えを深めていました。



「自分自身の命をまず第一に考えて行動して欲しい」とのアドバイスがありました(学校運営協議会吉田文枝委員)



「自宅が安全であれば、焦って避難する必要はない!」と、本当の意味での「避難」を説明しました(岡部拓海さん、3年)



女川との交流から地域を知り、災害時に協力し合うことの大切さを学んだと話しました(大島愛莉さん、3年)